

## 市街地にかまくらが登場 まちなか賑わい雪フェスタ

まちなか賑わい雪フェスタ(北上市十字路商店街振興組合連合会主催)は1月28日・29日の2日間、ツインモールプラザ東館南側広場で行われました。商店街のにぎわい創出などを目的し、経済産業省の地域商業活性化支援補助金を活用して開催。雪像やかまくらが設置され、滑り台などに子どもたちは歓声を上げて楽しんでいました。照井凜ちゃん(5歳・町分)と弟の理玖くん(3歳)は「お父さんが作ったかまくらより大きくて楽しい」と喜んでいました。

横手市のかまくら職人によって作られた  
横手かまくらで楽しむ子どもたち



高橋市長や実行委員長ら10人が屋外ステーションから約15キロの福豆をまきました

## 福は内！鬼も内！ 福豆鬼節分会

福豆鬼節分会(市教育委員会、岩崎地区自治振興協議会主催)は5日、鬼の館で行われました。

一般には「福は内、鬼は外」と豆をまきますが、鬼のテーマ博物館である同館では「福は内、鬼も内」の掛け声で豆がまかれ、来場者は夢中で豆を拾っていました。色紙の巻かれた福豆を手にした人には賞品を贈呈。特福が当たり加湿器をもらった加藤久美子さん(17歳・花園町)は「毎年来ていますが、今年は特福の豆を取ることができて、すごくうれしい」と喜んでいました。

## 宝くじで地域を元気に 平和台自治公民館落成

飯豊地区の平和台自治公民館落成式は4日、同公民館で行われました。

旧平和台自治公民館は、築50年を経過し、老朽化が著しいことや地域の世帯数が当時の4倍になり、手狭で地域活動に支障をきたしていることなどから宝くじの助成(コミュニティセンター助成事業)を活用して建て替えられました。中野文男平和台自治会長は「地域住民の健康増進、自治会の生活・文化の向上に活用していきたい」と話していました。

新しい地域の活動の場として落成された  
平和台自治公民館



ひ孫からもお祝いの絵をプレゼントされ、喜ぶミヨさん(前列中央)

## 百歳を迎えおめでとう 齋藤ミヨさん

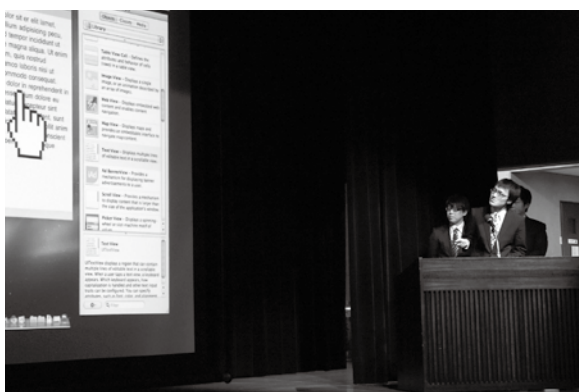
二子町にお住まいの齋藤ミヨさんが百歳を迎え15日、自宅に高橋市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。ミヨさんは明治45年2月15日生まれ。18歳で故貞一さんと結婚し、子4人、孫9人、ひ孫8人に恵まれています。何事も手早くきっちりやる性格で、5年前まで畑や庭の草取りを欠かさなかったそうです。

家族は「さくらまちケアホームのデイサービスに通っているおかげで元気で、楽しく暮らしています」と感謝していました。

## 研究の成果を堂々と発表 卒業研究発表会

北上コンピュータ・アカデミー(吉川一郎校長)の卒業研究発表会は10日、日本現代詩歌文学館で行われました。今春卒業予定の2年生103人が24のグループをつくり、それぞれにテーマを設定して昨秋から取り組んできた研究成果を発表。1年生98人と保護者らが出席し、卒業間近の2年生の発表に聞き入っていました。最優秀賞に選ばれたCG・CADコース7班は21日に青森県で行われる「東日本ブロック卒業研究発表会」に同校代表として出場します。

昨秋から取り組んできた研究成果を発表する2年生



田遊びの芸能として県内では唯一のもので、全国的にも希少な存在である春田打

## 節目を祝った芸能発表 北上市民俗芸能発表会

北上市民俗芸能団体連合会設立20周年記念事業「北上市民俗芸能発表会 がんばろう東北!～復興祈願～」は11日、さくらホールで行われました。同連合会に加盟している神楽や太鼓、田植踊など市内13団体が出演。地域に根付き、受け継がれている民俗芸能が節目の舞台上で観客を魅了していました。

東日本大震災で被災した民俗芸能の復興を支援する募金も行われ、集まった募金は全日本郷土芸能協会を通じて、沿岸被災地の芸能団体に送られます。

## 寒空の中雪上での熱戦 北上市小学生雪合戦大会

北上市小学生雪合戦大会(市教育委員会、市体育協会主催)は5日、北上総合運動公園第1運動場で行われました。

市内の17チームが参加。予選リーグを勝ち上がった8チームで決勝トーナメントを行い、白熱した試合を制して優勝したのは鬼柳野球少年団でした。また、工夫を凝らした旗を作成したチームに贈られるフラッグコンテスト最優秀賞には北上警察署剣道スポーツ少年団さくら館が選ばれました。

寒空のもと、雪上で白熱した試合が展開されました



「展勝地・陣ヶ丘の小金井桜をテーマに行われたパネルディスカッション」

## 桜の魅力と保全を考える 北上・展勝地開園90周年記念フォーラム

展勝地開園90周年記念事業「北上・展勝地開園90周年記念フォーラム～展勝地開園100周年に向けて～」(同実行委員会主催)は1月28日、さくらホールで行われました。講演、パネルディスカッションが行われ、参加者は桜の魅力・保全に理解を深めていました。また、開園100周年に向けて先人の思いを見詰め直し、展勝地のあるべき姿を再構築し、先人と共に展勝地づくりを行い、この貴重な財産を未来に引き継いでいくことを誓う「展勝地90周年宣言」を確認しました。